ミクロハイク（ネイチャーゲーム）

場所	自然の家内及び周辺（屋外ならどこでも）
時間	20～40 分程度
値段	無料
季節	年間
人数	何人でも

準備物

【利 用 者】活動に適した服装、虫眼鏡、白い糸、救急用品

【自然の家】特になし

プログラムの概要・ねらい

普段何気なく見ている自然も、見方や視点を少し変えることによって、全く別の世界に見えるということを体験的に学ぶことができる。虫の目線で自然の家を探検してみよう。

①準備

事前にグループに合わせたプログラム展開を検討し、活動場所の自然環境や危険箇所を確認する。
適切な探検フィールドを選ぶ。（予め下見をし、小さな虫がいる場所を探しておく）
活動開始前に安全面についての指導を行う。

②実施の流れ

【所要時間】

～5 分　プログラムの説明
- 活動のルール、範囲、集合方法を確認してから実施する。

＜導入＞
- 「今から虫眼鏡を使ってミクロの世界を探検に行きます」
- 虫眼鏡と糸を使って、実演しながら、手順を説明する。

15～25 分
① 糸を地面に置く
② 腹ばいになって、地面に顔を近付け、虫めがねで糸の端を見る。

10 分程度
③ 糸の周りに、何か動くものやおもしろいものを探しながら、ゆっくりと前に進んでゆく。（写真①②）

①

②

- 一人一人に虫眼鏡と糸を渡して、スタートする。
- 全員が終わったら、どんな虫がいたか、虫がどんなことをしていたか、どんな世界があったかなどを発表したり、確認し合ったりして振り返りを行う。

応用
- 大きく見えるものを、スケッチする。
- 地面だけでなく、木の幹や枝葉などを探検する。
- 森の中では、積もっている落ち葉を取り除いて、土の上を探検する。

詳細は…日本シェアリングネイチャー協会HP　https://www.naturegame.or.jp/

※宿泊棟・食堂（レストラン森の木）・大浴場・シャワー室内には入れない。また、プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙　注意が必要な動植物参照）

※虫眼鏡で太陽を見たり、焦点を合せてものを焼いたりしないよう約束しておく。
※虫眼鏡はできるだけ垂直に立てて、見たいものの横から見るようにする。
※真夏の炎天下では、実施しない。（日陰で行う）

③後片付け

特になし